

ジェロントロジー(総合長寿学)共同研究成果報告会

～超高齢社会を共創する福井県の挑戦～

福井県と東京大学では、平成21年度から、「高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会」の実現に向けて、共同研究を進めてきました。

全国の先駆けとなる坂井地区在宅ケアモデルの取組みや福井県民独自のデータを用いた研究の成果報告とともに、活力ある超高齢社会を目指した取組みについて考える報告会を開催します。

日時・会場

平成28年1月21日(木) 14:00～16:40
福井県国際交流会館 多目的ホール
(福井市宝永3丁目1-1)

※できるだけ公共交通機関でご来場ください。(JR福井駅から徒歩約15分)

参加無料

プログラム

※タイトル等は変更する場合があります。

14:00 開会あいさつ

14:05 基調講演 「活力ある超高齢社会を目指して」
東京大学高齢社会総合研究機構 大方潤一郎 機構長

14:40 報告1 「坂井地区における在宅ケアモデルの取組み」
坂井地区医師会 坂井健志 理事

15:05 報告2 「レセプトデータから見た医療・介護・健診のカタチ」
東京大学大学院経済学研究科 岩本康志 教授
東京大学大学院医学系研究科 成瀬 昂 助教

(休憩)

15:50 パネルディスカッション
「活力ある超高齢社会を目指して福井県の取組みを考える」
東京大学：大方潤一郎機構長(モデレーター)、岩本康志教授、
高齢社会総合研究機構 飯島勝矢准教授
坂井地区医師会：坂井健志理事、福井県：山内和芳健康福祉部長

16:40 閉会

・お問い合わせ先：福井県総合政策部政策推進課

E-mail seisaku@pref.fukui.lg.jp、TEL：0776-20-0225